

9. 人的な事業推進体制の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」(協会=Associationから作った造語)と呼んでおり、2012年度も、ボランティア(のべ258人、実数154人)と有給専従スタッフ(事務局員19人)が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」「財務・基金運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体合宿(11月の「一泊創出会議」、3月の「事業計画会議」)を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

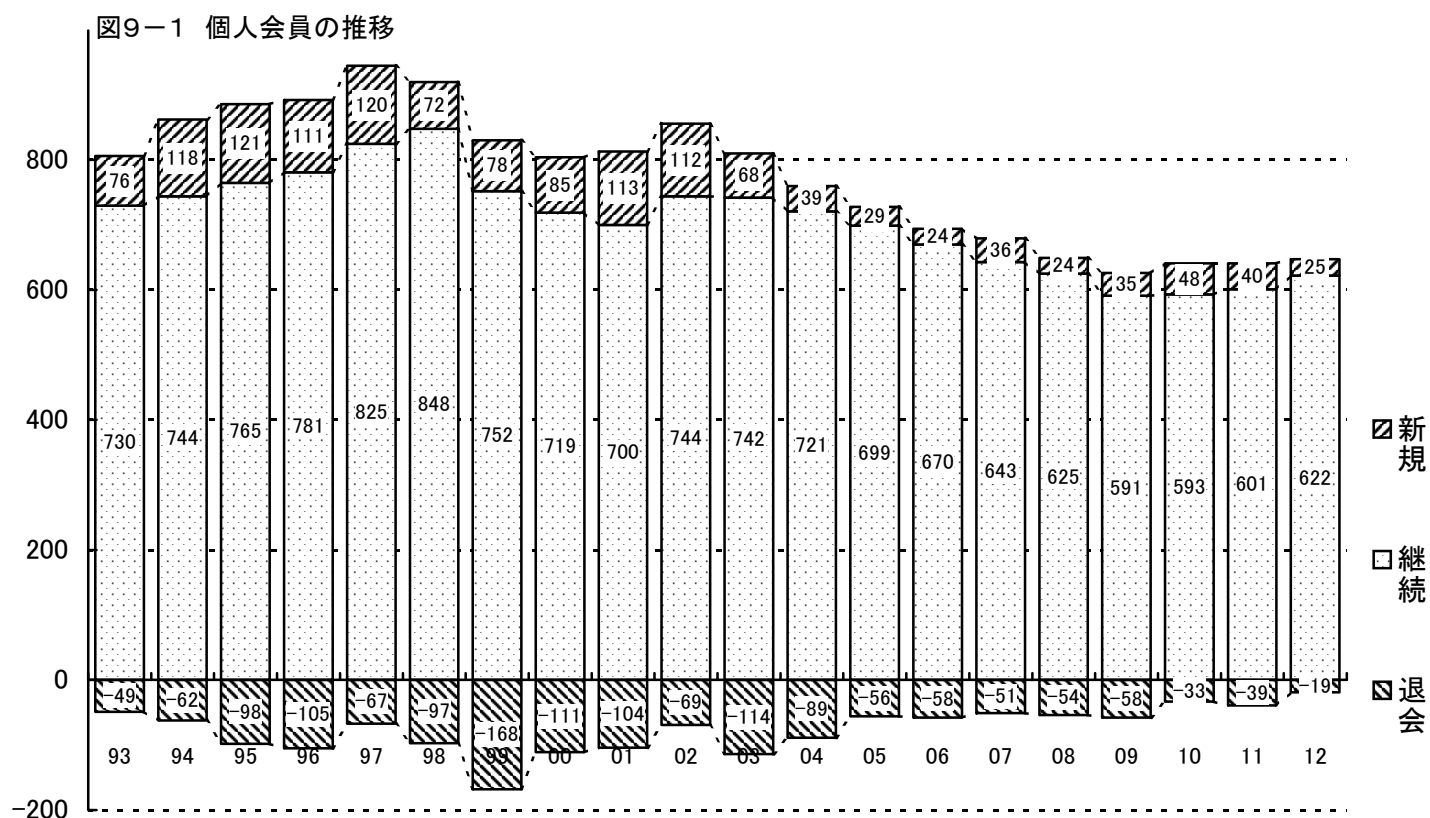
1. 会員の拡大

(1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。2012年度入会者数の昨年度比は15人減だが、退会者数より若干多かったため、総数としては前年よりも6名増となった。一方、統合・併合等が続く企業では、ご支援も困難な状態が続いている。団体賛助会員は3団体の退会があった。なお特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている(財)皓養社・前理事長 中納久昭氏である。[下表で()内は昨年度実績]

表9-1 2012年度の会員の異動状況(カッコ内は前年同期実績)

	2012年4月	新規加入	退 休 会	2013年3月
特 別 会 員	1 人	0 人	0 人	1 人
個 人 会 員	641 (640) 人	25 (40) 人	19 (39) 人	647 (641) 人
(内、生涯会員)	21 人	4 人	2 人	23 人
団体賛助会員(企業)	55 (57) 社	0 (0) 社	3 (0) 社	52 (55) 社
団体賛助会員(非営利)	11 (11) 社	0 (2) 社	0 (0) 社	11 (11) 社
合 計	708 (708)	25 (42)	22 (39)	711 (709)



(2) 会員拡大に向けた努力

① 会員限定通信誌『THE ボラ協』の内容

5・6月号	感動伝承 お話の語り手講座/2012年度に向けた事業計画会議/ビブス・ワンコイン募金実施中、ウォロ・アーカイブ、そろりと発信/協会レポート「裁判員交流会」「第7回多文化カフェ」/
-------	---

	震災復興応援イベント「3.11 from KANNSAI」協会出展ブースレポート
7・8月号	2012年度定期総会記念講演会レポート／定期総会報告／2012年度アソシエーターのご紹介／協会レポート／新連載「いざ！新拠点へ」／ボランティアスタイルDAY2012春レポート
9・10月号	満員御礼続出！ボランティアスタイルの盛り上がりの秘密に迫る！／キラリ会員インタビュー「河西実さん」／協会レポート／「いざ！新拠点へ」第2回／アソシエーター新人研修&歓迎会開催
11・12月号	北区事務所閉所のお知らせ／ありがとう同心事務所／創出会議報告／協会レポート／「いざ！新拠点へ」第3回／寄付を集めて認定めざそう！ウェブサイトを開設！
1・2月号	2013年新しく生まれ変わるために「これを手放す！」／これがボラ協新拠点だ／協会レポート
3・4月号	まもなく閉館～ありがとう！大阪NPOプラザ／同心時代のはじまりの頃／キラリ会員インタビュー「山口百合子さん」／追悼 吐山継彦さん

②. 会員コミュニケーションプロジェクトの動き

協会の支援者を増やすため、「会員コミュニケーションチーム」を設置。2012年11月～13年1月に会員拡大キャンペーンを実施し、講座・書籍等の1,000円割引券、新拠点会議室利用2,000円割引券のセットを特典として、9人の新規入会を得た。

③. 寄付および会費自動納入システムの運営

8月よりクレジットカード・オンラインシステムを導入し、これまでの近畿労働金庫、郵便貯金と同様に寄付や会費の自動引き落としが可能になり、金融機関に出向かずとも会費を納入できる態勢を整えた。12年度末の利用会員は、近畿労働金庫：8人、郵便貯金：27人、クレジット：84人である。

2. 組織活動

(1) 理事会（第59～62回）の開催

- ①第59回 開催日：2012年5月28日（月）、出席理事：12人（書面出席7人）
議案：①2011年度の事業報告（案）および決算報告（案）、②2012年度補正予算（案）と事業計画（案）、③就業規則の改正（案）
- ②第60回 開催日：2012年9月27日（木）、出席理事：15人（書面出席2人）
議案：①来年度の協会の拠点に関して
- ③第61回 開催日：2012年11月12日（月）、出席理事：15人（書面出席5人）
議案：①2012年度上半期事業報告および上半期収支報告、②2012年下半期事業計画（案）および第2次補正予算（案）、③参与の委嘱（案）
- ④第62回 開催日：2013年3月19日（火）、出席理事：15人（書面出席6人）
議案：①2013年度事業計画（案）および予算（案）、②定款変更（案）、③就業規則（案）

※この他、8月11日に、臨時の事業の協議のため、理事意見交換会を実施。

(2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

(3) 評議員会（第57～60回）の開催

- ①第57回 開催日：2012年5月28日（月）、出席者：22人、欠席9人（於：北区事務所）
議案：第59回理事会①～③に付した議案、④理事の一部改選（案）について
- ②第58回 開催日：2012年9月27日（木）、出席者：22人、欠席9人（於：北区事務所）
議案：①来年度の協会の拠点に関して...
- ③第59回 開催日：2012年11月12日（月）、出席者：17人、欠席14人
議案：第61回理事会①に付した議案

- ④第60回 開催日：2013年3月19日(火)、出席者：22人、欠席9人
議案：第62回理事会①～③に付した議案

(4) 監事会の開催

開催日：2012年5月7日(月)、出席監事：3人
内容：「2011年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

(5) 会員総会(2012年度定期総会)の開催

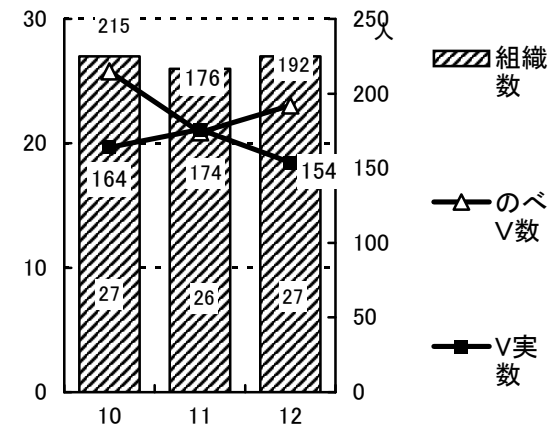
開催日：2012年5月26日(土) 10時30分～17時
会場：大阪NPOプラザ 3階ホール
出席：342人(うち委任状提出299人)
内容：第1部＝記念講演会「災害におけるボランティア・NPOの役割と課題」講師：河田 恵昭(関西大学社会安全学部長・社会安全研究科長・教授)、第2部＝①アソシエーターへの委嘱状交付、②2011年度事業報告(案)と決算報告(案)、③2012年度事業計画(案)と予算計画(案)、第3部＝会員懇親会

3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チームなどの組織数)と、参加するボランティアののべ人数)を図8-2に示す。

チーム、委員会の数は事業の終了と新設によって同水準になったが、新規事業をスタートさせた結果、アソシエーターのべ258人(昨年度256人)[うち、ボランティアのべ192人(同174人)]と減少、実数は154人(同176人)と微減であった。なお、昨年度の実績が間違っていたので訂正した。

図8-2 事業への市民参加



(1) 一泊創出会議、事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の合宿を開催した。毎年秋に開催している「一泊創出会議」では、情報や拠点の戦略、コミュニティと協会事業の関係について協議した。3月に開いた「事業計画会議」では、チーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた12年度の取り組みに対する評価と、13年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図っている。このように協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

- ・一泊創出会議：2012年9月22日(土)～23日(日)、34人参加。【第1部】「協会の情報戦略」、【第2部】「協会の新拠点戦略」、【第3部】「地域コミュニティ支援事業を通じた協会のコミュニティ戦略のあり方」
- ・事業計画会議：2013年3月23日(土)～24日(日)まで、41人参加。昨年度に引き続き、センター別に事業ごとに5分のプレゼンテーションを実施し意見交換。

(2) 常任運営委員会(委員長 延岡 敏也、委員V14人、職員4人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。2012年度は、毎月の定例の会議に加え、コーディネーションや地域支援事業を検討するにあたって、7月と10月にボランティア・NPO推進センターとの合同会議、8月に臨時会議を開催。また、9月の常任運営委員会は理事会開催のため中止した。なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加している。(定例日 原則第4火曜、午後7～9時、大阪NPOプラザ)

<委員> 延岡敏也(委員長)、井上小太郎、今村澄子(以上、副委員長)、岡本友二、楠正吉、久保友美、小林義彦、筒井のり子、名賀 亨、西江孝枝、増田宏幸、森本聡、村岡正司、早瀬 昇、水谷 綾、永井美佳、岡村こず恵、影浦弘司

<主な協議内容> 河北新報掲載に対する抗議文提出について、早瀬常務理事の日本NPOセンター代表就任、将来ビジョンの中間振り返り、「定期総会」の持ち方・ふりかえり、将来ビジョンでの拠点の論点、大阪市コミュニティ支援策の動向、大阪市コーディネーション事業の契約とコンペの決定、大阪市新たなコミュニティ支援事業の方向性、創出会議の協議内容、裁判員ACTの提言内容について「一泊創出会議」の持ち方、大阪市CO事業コンペ動向と北区の賃貸条件、新拠点の候補、50周年事業のワーキングの設置、新拠点の動きの動向、VCO事業申請プラン内容

について、創出会議で出てきたポイントと進め方、新拠点概要とレイアウト案、情報戦略の中間答申、新拠点準備の資金集めとネーミングの検討、将来ビジョン再考の検討経過、総会記念講師の検討、常任運営委員の役割再確認と新委員リクルートの検討、「事業計画会議」のプログラム、CANVAS谷町のオープニング内容と寄付募集の経過

(3) 財務・基金運営委員会 (委員 V7人+職員3人)

常任運営委員会の諮問機関として、財政運営や基金の管理運営を検討するために設置。年5回開催した。

<ボランティア委員> 井上小太郎、岡本榮一、早瀬 昇、平手清、松井淳太郎、三砂 孝、森田正紀

<事務局委員> 水谷 綾、永井 美佳、影浦弘司

<主な協議内容> 決算(四半期毎)・予算(+補正予算)・月次収支の確認、基金や積立金の運用にかかる定期預金や公社債の管理、団体賛助会員への対応、財源開発に向けた意見交換など

(4) 【新規】広報戦略委員会 (元・情報戦略会議) (委員長・西誠、他V7人+職員4人)

常任運営委員会の部会として、広報戦略や執行管理を検討するために設置。4月から12月まで準備会である情報戦略会議として9回、1月から広報戦略委員会として2回、合計年11回開催した。

<ボランティア委員> 磯野奈緒、大谷隆、東瀬治雄、西誠、延岡敏也、華房ひろ子、増田宏幸、森本聡

<事務局委員> 水谷 綾、岡村こず恵、影浦弘司、梅田純平

<主な協議内容> 既存の協会メディアの現状と課題、各メディアの特長分析、協会のメディア戦略策定など

(5) ボランティア・NPO推進センター運営委員会 (委員長・今村澄子、他V9人+職員10人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。(隔月程度で不定期、午後7時~9時、大阪NPOプラザ)

<委員> 今村澄子(委員長)、阿部圭宏、川井田祥子、川畑恵子、杉浦 健、谷水美香、西 誠、村岡正司、

<主な協議内容> ボランティアコーディネーション事業、VNC事業の骨格と方向性、拠点の支援メニューなど

・「NPO支援センター向け事業開発部会 (KNN世話人会)」の取り組み (委員 V6人+職員1人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。「関西NPO支援センターネットワーク (KNN)」の企画に取り組み、3回の協議を重ねた。

<ボランティア委員> 石原真弓、川畑恵子、坂田慶子、須貝昭子、中村仁美、堀野亘求

(6) ボランティアコーディネーション推進委員会 (委員 V3人+職員3人)

ボランティアを支援する協会内外の専門スタッフの育成と支援、専門性の向上を目的に、2012年度は2回開催、おおむね2時間の協議を重ねた。

<ボランティア委員> 石井祐理子、岩本裕子、南 多恵子

<主な協議内容> 組織再編に伴い、委員会の目的や活動内容の検討、コーディネーター講座を企画、実施した。

(7) 企業市民活動推進センター運営委員会 (委員長・井上小太郎、V8+職員3人)

企業市民活動推進センターの戦略と事業全般の強化について検討する場として開催。12年度は企業市民活動センターのビジョンについて議論、検討を進めた。また、CRM研究、新任CSR担当向けの講座企画に向けて議論を重ねた。

<ボランティア委員> 井上小太郎(委員長)、尾崎 力、楠 正吉、小林義彦、原田京子、平瀬有香、廣田浩一、松井淳太郎

<主な協議内容> 企業市民活動センターのビジョンについて、CRM(コズリレーティドマーケティング)研究会、新任CSR担当者向けの講座企画について、避難者支援(おもてなしプロジェクト)、震災復興応援イベントについて、

(8) ボランティアリズム研究所運営委員会 (委員長・岡本仁宏、他V8人+職員4人)

「ボランティアリズム研究所」発行の研究誌2号について主に協議。12年度は5回開催した。

<ボランティア委員> 所長: 岡本榮一、委員長: 岡本仁宏、井上小太郎、柏木宏、久保友美、牧口明、守本友美、早瀬昇

<主な協議内容> 研究誌『ボランティアリズム研究』2号の企画・編集方針/研究チーム「東アジア」企画 など

(9) チーム・専門委員会などの活動

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

A. 推進チーム (12チーム、ボランティアのべ93人)

- ①. 「自治の学校」運営チーム (チーフ・今村澄子、6+1人。月1回)
- ②. 裁判員ACTチーム (チーフ・川畑恵子、9+2人。月1回)
- ③. NPOのボランティア推進チーム (チーフ・谷水美香、2+1人。月1回)
- ④. ボランティアスタイルチーム (チーフを決めず、18+5人。月2回)
- ⑤. 「パレットカフェ」チーム (チーフを決めず、2+1人。随時)
- ⑥. 「Volo(ヴォロ)」発送チーム (チーフを決めず、10+1人。月1回)
- ⑦. ITボランティアチーム「むくどり」 (チーフ・芝原悦郎、14+1人。月1回)
- ⑧. 英語情報発信強化チーム「Eボラ(イーボラ)」 (チーフ・岡田明、6+1人。月1回)
- ⑨. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム (チーフ・久保友美、6+1人。随時)
- ⑩. 映像製作発信チーム「トライポッド」 (チーフ・神吉良輔、9+1人。随時)
- ⑪. 多文化共生推進チーム「カクテル」 (チーフ・丸山敏夫、6+1人。月1回)
- ⑫. お金の参加推進チーム「きふ人」 (チーフを決めず、5+2人。月1回)

B. ワーキングチーム (4チーム、ボランティアのべ21人)

- ①. 将来ビジョン再考会議 (チーフを決めず、6+4人。月1回)
- ②. 多文化子育てサロンワーキングチーム (チーフ・藤原麻佐代、3+1人。月2回)
- ③. 多文化子育てやさしい日本語ワーキングチーム (チーフ・藤原麻佐代、4+1人。月1回)
- ④. 多文化学習会企画会議 (チーフを決めず、8+1人。随時)

C. 専門委員会 (8委員会、ボランティアのべ82人)

- ①. 「Volo(ヴォロ)」編集委員会 (委員長・増田宏之、26+2人。月1回)
- ②. 出版委員会 (委員長・牧口明、7+2人。年3回)
- ③. 多文化共生事業委員会 (委員長を決めず、4+3人。月1回)
- ④. 多文化子育て事業企画運営委員会 (チーフを決めず、8+1人。随時)
- ⑤. 関西NPO会計税務研究会 (委員長を決めず、11+2人。随時)
- ⑥. フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム幹事会 (委員長を決めず、10+3人。隔月1回)
- ⑦. 「THEボラ協」編集委員会 (委員長を決めず、11+1人。隔月1回)
- ⑧. CSR初任者研修企画運営委員会(仮) (チーフを決めず、5+2人。随時)

4. 事務局体制の充実

(1) 職員研修の実施

開催日：2012年6月23日(土) 会場：大阪NPOプラザ 参加者：職員12人、ボランティア・スタッフ1人

内容：第1部＝担当事業の現状評価と今年度末の目標

第2部＝大阪ボランティア協会における働き方

第3部＝東日本大震災 動きの確認 ～緊急マニュアル作成に向けて～

(2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、常務理事、事務局長、事務局次長、事務局主幹の5人で、毎月1回を目安に随時開催。事務局体制の検討や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。なお、日常的な詳細業務の確認は、事務局長、事務局次長、事務局主幹の4人で協議を行った。

(3) 2012年度の事務局体制

2012年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員12人、非常勤職員7人であり、雇用形態別では正職員8人(うち1名は産休育休)、嘱託職員4人、アルバイト7人であった(年度途中の退職者・入職者を含む。以下、敬称略)。

※ ボランティアをV、NPO推進センターをNC、大阪NPOプラザをONP、企業市民活動推進センターをCCCと略記

早瀬 昇(常務理事)

【正職員】水谷 綾(事務局長; 全事業統括、総務、人事、渉外、常任運営委、VNC委等)、永井美佳(事務局次長; Vコーディネーション、Vスタイル事業、多文化共生事業、ONP所長、財務、労務、総務等)、岡村こず恵(事務局主幹; 出版事業統括・編集、研究所、被災地支援、ライブラリー等)、影浦弘司(事務局主幹: CCC事業、講師派遣調整、トライポッド、大ガス・積水助成等)、白井恭子(新しい公共支援事業、講師派遣、市町村施策、KNN、パートナー登録、自治の学校、Nボラ)、梅田純平(Vコーディネーション、KVネット、大学VC連絡協議会、会場利用登録、カクテル等)、金治宏(ウォロ、裁判員ACT、市協働研修、Eボラ等)

※江渕桂子は産休・育休のため休職

【嘱託職員】塩谷邦子(経理、社会保険等)、山本佳史(大阪NPO情報ネット、ONP管理業務、庶務等) 大谷 隆(北区事務所、ザボラ、情報ネット、IT管理、語り手講座、真如苑等; 週4日勤務)、松下仁美(総務、常務理事講師派遣調整等; 週4日勤務)

【アルバイト】藤本勝代(V募集情報整理、北区事務所会館運営等)、保村美佐江(ONP・北区事務所会館運営)、森本正史(ONP会館運営)、畑田 貢(大阪NPO情報ネットデータ整理、ONP会館運営)、山下輝夫(ONP・北区事務所会館運営)、岡村豊子(出版販売、北区事務所会館運営)、川畑恵子(北区事務所会館運営)

【ボランティア】

[事務局支援(新聞切抜支援)] 平手 清

[ウォロ(Volo)] 朝井翔二(『Volo』のカット作成)、川畑恵子(校正)、元・久の会、トミの会、岡本佳子、岸田和弘、友金英治、中野伊津子、深野久雄、福満奈都、吉中広子(以上、『Volo』の発送支援)。

[THE・ボラ協] 畑田 貢(『ザ・ボラ協』校正)。

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。